

土砂災害

台風や集中豪雨・地震が原因で土砂災害が起ることがあります。

土砂災害の種類



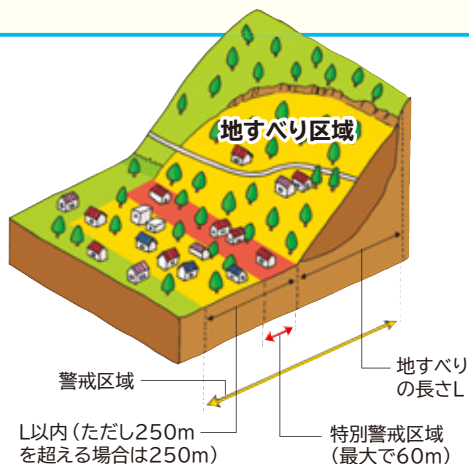
こんなときはすぐに避難

- ・土砂災害の危険性のある地域で大雨が降ったときや普段と違った現象を発見したとき
- ・土砂災害の危険性のある地域で土砂災害警戒情報が発表されたとき
- ・避難勧告、避難指示が出されたとき

地すべり

地下水の水位が上がり、地面の一部がすべり落ちる自然現象

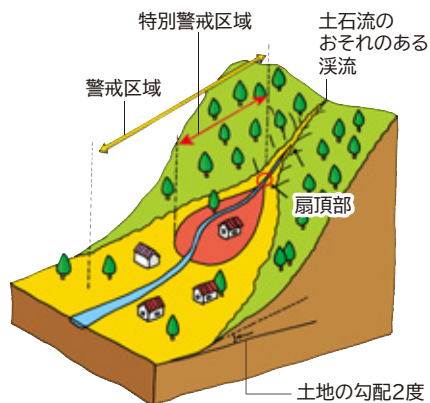
地下水などの影響により、粘土性の土をすべり面として、斜面の岩石や土壌が少しずつゆるやかにすべり落ちる現象のことです。大雨や雪が降ったときに起こりやすく、被害が広範囲に広がる可能性があります。



土石流

山腹が崩れて発生する土石や溪流の土石が一気に崩れる自然現象

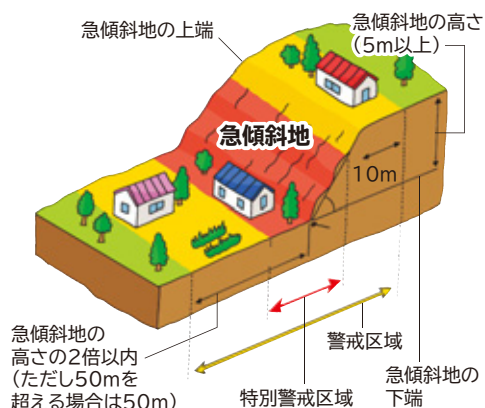
山や谷の石や土砂が、大雨や集中豪雨による大量の水とあいまって、一気に下流へと押し流される現象です。土石流の速さは時速20~40kmもあり、すさまじいスピードで周辺の家や田畑などを飲み込んでいきます。



急傾斜地の崩壊

傾きが30度以上の土地が崩れる自然現象

地中にしみ込んだ雨水や地震の揺れによる影響等で、山の斜面が突然崩れ落ちる現象のことです。崩れるスピードはとても速く、災害が発生してからの避難は困難なため、危険を感じたら早めに避難することが大切です。



こんな現象が起きたら 8つの前兆と 注意点

土砂災害が起こる前の
危険信号をキャッチしましょう。

割れ目

斜面に割れ目ができている。



ここに注意! 急傾斜地が一気に崩れ落ちる可能性あり。

わき水の増加

斜面から出るわき水の量が増加した。



ここに注意! 急傾斜地が一気に崩れ落ちる可能性あり。

落石

山の斜面から石が転がり落ちてくる。



ここに注意! 急傾斜地が一気に崩れ落ちる可能性あり。

水にごり

沢や井戸の水がにごっている。



ここに注意! 地すべりが起こる可能性あり。

わき水の減少

斜面から出ていたわき水が急に止まる。



ここに注意! 急傾斜地が一気に崩れ落ちる可能性あり。

地鳴り

山から地鳴りが聞こえてくる。



ここに注意! 土石流が起こる可能性あり。

川にごり

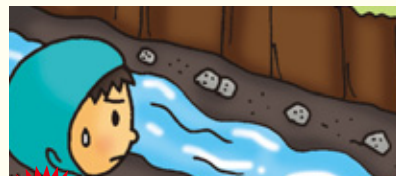
急に川がにごって、流木などが流れてくる。



ここに注意! 土石流が起こる可能性あり。

水位の減少

川の水位が下がっている。



ここに注意! 土石流が起こる可能性あり。

Try!

土砂災害対策

土砂災害の発生に備え、日頃からできる防災を考えましょう。

ハザードマップの確認

ハザードマップを参考に、土砂災害の危険箇所をあらかじめ把握しておきましょう。また事前にどこへのルートで避難したらよいか確認しておきましょう。

気象情報等に注意する

土砂災害の多くは雨が原因です。雨が降っているときは、テレビ・ラジオ、府土砂災害ポータル等を活用し、気象情報、雨量に注意をしましょう。土砂災害警戒情報が発表された場合は注意が必要です。

早めの準備・早めの避難

災害が発生したときに自らの安全を確保し、すばやく行動するためには、日頃からの備えが大切です。非常持出品の用意、確認等できる範囲で防災への取り組みを心がけましょう。市から避難情報が発令されていなくても、雨量の情報、周囲の前兆現象に注意し、異変があればすぐに、自主避難をしましょう。

